

平成28年度 行政評価 施策カルテ

施策名	2 非行・問題行動の未然防止
-----	----------------

施策主管課	子ども未来課	総合計画記載頁	119ページ
-------	--------	---------	--------

1 施策の位置付け

政策の柱	II 市民の学ぶ意欲と豊かなこころを育むために	政策名 (基本施策名)	12 健全な青少年を育成する	政策の達成目標 (基本施策目標)	青少年が、さまざまな人とのかかわりの中で、成長段階に応じた社会性を身につけ、心身ともに健康に成長し、社会の一員として充実した生活を送っています。
------	-------------------------	----------------	----------------	---------------------	--

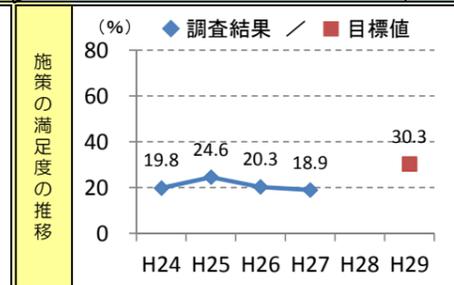
2 施策の取組状況

施策目標	青少年が非行や問題行動等を起こすことなく、健全に生活しています。
------	----------------------------------

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 市民意識調査結果 指標3	指標名(単位)		H24 (現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価
	指標1	初発型非行検挙補導人数(20歳未満)(人)	単年度目標値	270人未満	270人未満	270人未満	270人未満	270人未満			270人未満	A	調査結果	施策の満足度(%)	19.8%	24.6%	20.3%	18.9%	
現状値(H23実績)			270人	実績値	173人	181人	120人	73人	目標値(H29)	30.3%	前年度からの増減					4.8%	-4.3%	-1.4%	
目標値(H29)		270人未満	単年度の達成度	156.1%	149.2%	225.0%	369.9%		③ 主要な構成事業の進捗状況 (主要な構成事業の個別の進捗状況は、「3 施策を構成する事業の状況」を参照)									B	
指標2	現状値	単年度目標値							【参考】中核市等との水準比較	中核市平均									
		実績値																	
	目標値(H29)		単年度の達成度																
指標3	現状値	単年度目標値								中核市での本市の順位									
		実績値																	
	目標値(H29)		単年度の達成度																

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 増進型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$
★ 逓減型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$



① 施策指標	A: 達成度90%超 [33点]	B: 達成度70%~90% [25点]	C: 達成度70%未満 [15点]
② 市民意識調査結果(満足度)	A: 前年度より向上 (+5pt超) [33点]	B: 前年度同水準 (±5pt以内) [25点]	C: 前年度より低下 (-5pt超) [15点]
③ 主要な構成事業の進捗状況	A: 計画以上 (主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点]	B: 計画どおり (主要な構成事業の8割以上が計画どおり) [25点]	C: 計画より遅れ (主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点]
総合評価	順調:(A評価が2つ以上(C評価がある場合を除く。)) [90点以上]	概ね順調:(主にB評価が2つ以上) [65点以上90点未満]	やや遅れている:(C評価が2つ以上) [65点未満]

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況

施策を取り巻く環境等	・全国的傾向として、青少年の非行は、学校生活への不適応、インターネットの急速な普及による有害情報との接触などが背景となっている。全国的に少年犯罪は減少しているが、依然として青少年による凄惨な事件の発生や、ソーシャルネットワークサービスの利用に起因した犯罪被害やインターネット上でのいじめが増加している。	市民満足度	「青少年非行防止対策事業」の巡回指導活動等に継続的に取り組んでいるものの、全国的に影響を与える青少年の犯罪被害やインターネットを介した犯罪被害などの社会問題化により、市民満足度については微減となっていると考えられる。	総合評価	83点
施策指標	「初発型非行検挙補導人数」については、青少年のための良好な社会環境の整備のため、栃木県との連携による立ち入り調査や地域や学校等と連携して巡回指導等を実施してきたことなどにより、平成27年度も目標値を達成している。				概ね順調

3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象, ★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(5事業選択)

No.	事業名	戦略P・ 主要事業 ※	事業の目的	事業内容		事業の 進捗状況	H27 事業費 (千円)	開始年度	日本一 施策 事業	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物(誰・何に)	取組(何を)					
1	青少年非行防止対策事業費	★	巡回指導などによる, 青少年の非行と犯罪被害の抑制および地域等における非行防止の意識醸成の促進	青少年, 各学校PTA, 各地域育成会, 団体等	巡回指導, 立ち入り調査, 非行防止講演会など	計画どおり	8,882	S39		青少年巡回指導員による巡回指導を定期的実施するほか, 地域や関係団体の非行防止の意識醸成のため, 非行防止講演会などの非行の未然防止にかかる啓発事業を実施する。

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
<p>課題</p> <p>◆青少年を取り巻く有害環境等に対応し, 青少年が非行や問題行動を起こすことなく健やかに成長できるよう, 関係機関・団体との連携強化を図りながら, インターネット等の利用の増加など青少年の生活環境の変化に対する, 地域や家庭における周知啓発を促進する必要がある。</p>	<p>方向性</p> <p>〈施策全般〉 ◆非行等の未然防止や早期発見, 早期対応に向けて, 巡回指導の実施やスマートフォン等によるインターネットの使用のルールについての普及啓発など, 引き続き, 地域や関係機関・団体と連携し, 地域や家庭における非行防止に係る意識醸成の推進に取り組む。</p> <p>〈主要事業〉</p> <p>〈その他個別事業〉</p>